

「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策 検討委員会ニュース 第2号



発行日：平成25年7月12日

発行：検討委員会事務局

第2回検討委員会 開催

■日時 平成25年6月18日（火）18時30分から

■場所 上郷地区センター

決定事項等

- 小規模校対策の方向性について各所属団体からの意見、要望の報告を受けた後、上郷中学校・庄戸中学校の学校統合を前提として今後の検討委員会を進めていくことを確認しました。
- 統合時期について、教育委員会より、平成27年4月が望ましいとの考えが示され、平成27年4月とすることを検討委員会で確認しました。
- 統合時の使用校舎について、資料を基に検討委員会で議論した後、教育委員会より、上郷中学校の校舎を使用することが望ましいとの考えが示されました。
- 使用校舎については、当日の説明、議論を含め、各所属団体に持ち帰り、次回の検討委員会で決めることとなりました。
- 統合校の学校名については、公募方式で選定することとなりました。アンケート対象者等については、次回の検討委員会で決めることとなりました。

1 統合時期について (事務局より説明)

○平成27年度統合の場合

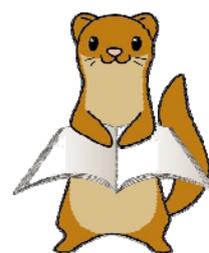
	H25	H26		H27	H28	H29	H30
上郷中学校			統合				
推計 生徒数	261	271		457	451	446	423
学級数	9	9					
庄戸中学校				12	12	12	12
推計 生徒数	173	176					
学級数	7	6					

○平成28年度統合の場合

	H25	H26	H27		H28	H29	H30
上郷中学校				統合			
推計 生徒数	261	271	271		451	446	423
学級数	9	9	9				
庄戸中学校					12	12	12
推計 生徒数	173	176	186				
学級数	7	6	6				

平成24年度義務教育人口推計より(個別支援学級を除く) (H25は5月1日現在の実数値、H26以降は推計値。)

当日の様子



平成27年度統合	平成28年度統合
・ 検討期間が1年	・ 検討期間が2年
・ 両校の交流期間が1年 (※)	・ 両校の交流期間が1年 (※)
・ 両校の現2年生卒業後の統合	・ 両校の現1年生卒業後の統合

※学校間の交流について

統合する方向性が決定した後、統合する学校間で生徒・PTAの交流を深め、統合に向け段階的に関係づくりを進めます。同時に、教員同士も連携を取りながら、教育内容、生徒指導に関する情報の共有を進めます。

統合時期については、平成27年4月とすることを検討委員会で確認しました。

2 統合時に使用する校舎について

(事務局より説明)

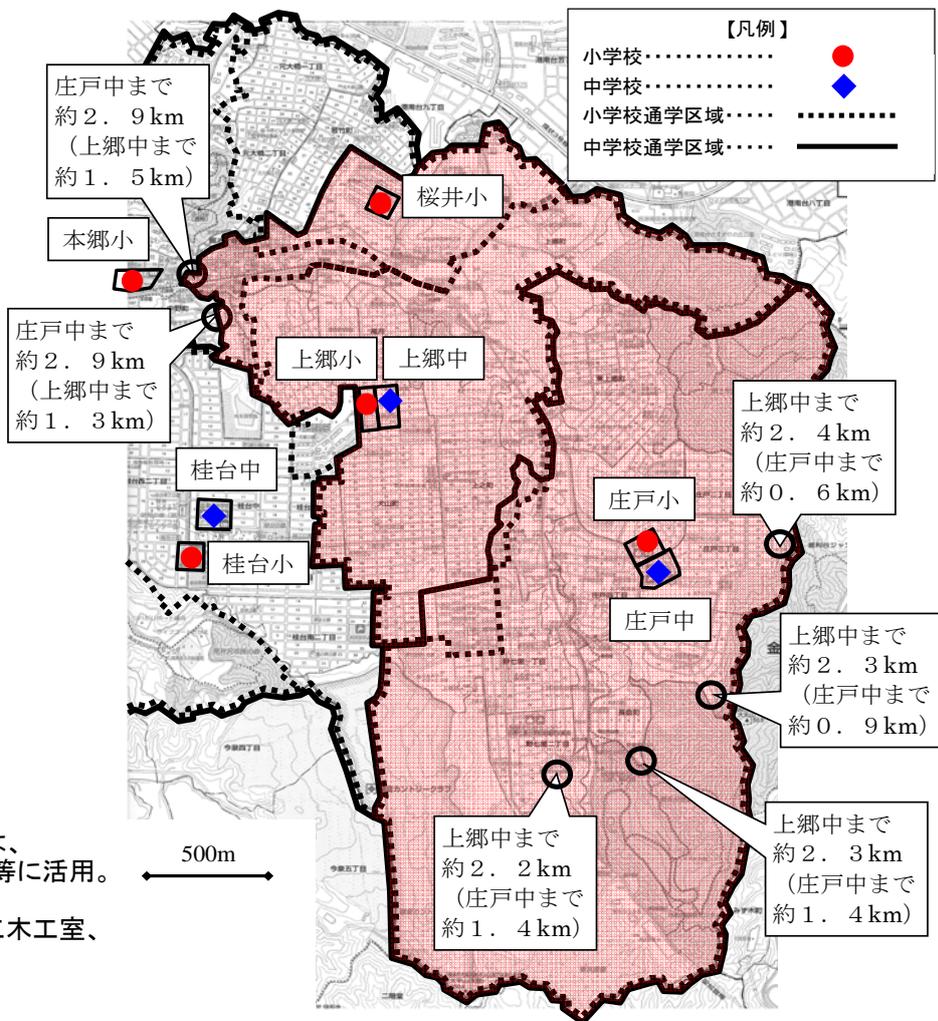
<通学距離(道のり。最も遠いと思われる地点)>

施設状況	上郷中学校	庄戸中学校
敷地面積 (㎡)	15,583	16,052
校庭面積 (㎡)	8,612	6,799
校舎延床面積 (㎡) (※1)	5,997	5,823
構造・階数	鉄筋コンクリート造・4F	
体育館 (㎡)	772	870
H25年度一般学級数	9	7
H25年度個別支援学級数	2	2
保有教室	普通教室 (※2)	14
	個別支援教室	2
	特別教室 (※3)	10
建築年度	昭和49年度	昭和55年度
耐震補強工事	平成15年度	平成11年度

※1 体育館等を含まない延床面積を示す。

※2 普通教室のうちクラスルーム以外の教室は、各校とも学習室(多目的室)や生徒会議室等に活用。

※3 特別教室は理科室、音楽室、調理室、金工木工室、図書室、視聴覚室等を示す。



◎ 統合時に使用する校舎についての議論(意見)

【凡例】☆・・・検討委員

- ☆ 矢沢小学校と犬山小学校が学校統合する際、上郷中学校との小中一貫教育を進めるということで開校したと思います。上郷小学校と上郷中学校は廊下で繋がっており、交流もあるので、上郷中学校を使用して開校していただけたらと思います。
- ☆ 上郷中学校は上郷小学校、桜井小学校、本郷小学校の3校から子どもが来ているので、そういうことや人数的なことも考えると上郷中学校の校舎を使用したほうがいいのかと思います。
- ☆ 上郷中学校の生徒数が増え、庄戸中学校が開校しましたが、生徒数が少なくなりました。そうするとまた元に戻るのかなと思いました。
- ☆ 上郷中学校の校舎を使用するという方向で話が進んでいっている印象を受けました。
- ☆ 庄戸中学校の校舎を使用した場合、今、上郷中学校に通っている方々の一部が桂台中学校や本郷中学校への通学を希望する可能性があるという説明が事務局からありました。そうすると、学校統合して12学級が見込まれているのが、例えば10学級とかそれ以下になってしまう可能性があると思うので、上郷中学校の校舎を使用して12学級を守っておいたほうがいいのかと思います。
- ☆ 上郷中学校と桂台中学校は近くにあり、庄戸中学校は離れています。もし上郷中学校の校舎を使用することになると、地域活性化という面では、庄戸地区は本当に寂しくなってしまいます。学級数等は上郷中学校のほうが上回っているのは一目で分かりますが、バランスを考慮してほしいと思います。
- ☆ 庄戸中学校の通学区域内に住んでいるので、庄戸中学校の校舎を使用してくれたほうがいいのかと思いますが、どちらかが折れないと話が終わらないと思います。どちらかが折れないといけないのであれば、上郷中学校の校舎を使用しても、生徒数を増やしてほしいという気持ちです。

統合時に使用する校舎についての議論の後、
教育委員会の考えが示されました。

統合時に使用する校舎について(教育委員会の考え)

統合時に使用する校舎については、施設の状況、通学安全などを総合的に判断して、子どもたちにとってよりよい環境を選ぶ必要があります。使用する校舎についての教育委員会の考えは以下のとおりです。

- ・上郷中学校のほうが校庭面積が約1,800㎡広い。
- ・両校通学区域を合わせた場合、上郷中学校通学区域から庄戸中学校までの距離のほうが約500メートル長い。(最も遠いと思われる地点)
- ・庄戸中学校の校舎を使用することになった場合、桂台中学校や本郷中学校に近いところから、桂台中学校、本郷中学校に通いたいという要望が出る可能性があり、統合校の生徒数、学級数があまり増えない可能性がある。

教育委員会の考え

以上の理由により、統合時に使用する校舎については、
上郷中学校が望ましいと考えます。

使用校舎については、当日の説明、議論を含め、各所属団体に
持ち帰り、次回の検討委員会で決めることとなりました。

3 統合校の学校名の選定方法について (事務局より説明)

事務局から、統合校の選定方法について2案の説明がありました。

- 【公募方式】
学校名を公募し、その結果を参考に検討委員会で選定する。
- 【委員会検討方式】
検討委員会で学校名を議論し、選定する。

議論の結果、統合校の
学校名については、
公募方式で選定する
こととなりました。

4 検討委員会での主な質問・発言 【凡例】☆・・・検討委員、→・・・事務局

- ☆ 学校統合すると通学距離が長くなり、通学が困難になるので、スクールバスの運行を検討してほしいという意見がありました。
- ☆ 前回、部活動だけでなく、学力的なことも考えていかなければいけないというご意見がありました。統合することによるメリットについては、実際に統計を取ったわけではないですが、やはり生徒数が増えるということは、切磋琢磨する、競争するという意味で、学力向上に繋がるだろうと思います。
- ☆ 自転車通学は許可しているのですか。
→ 横浜市では、徒歩での通学を原則としていますが、通学距離が長い地域等、校長先生の判断で認めるということはありません。
- ☆ 両校とも耐震補強工事をしていますが、耐震強度に優劣はないのか教えてください。
→ 法律で基準値が決まっており、それを上回るように設計して補強を行っているので、両校とも通常の安全は確保されています。
- ☆ 資料に載っている通学距離は坂道の登り、下りも考慮されているのですか。
→ 登り、下りは考慮していない地図上の距離になります。

- ☆ 跡地利用については、横浜市としてどのように考えているのですか。
- 跡地利用については、この検討委員会とは別の場で、区役所とも連携しながら、市全体で検討を進めていきたいと考えています。
- ☆ 統合校の学校名の選定方法について、公募方式というのはどのようにやるのですか。
- 今までの事例ですが、学校を通じて子どもたちにアンケートを取り、併せて、検討委員会ニュースにアンケートを挟み込んで地域の方、保護者の方からもご意見をいただくという形で学校名案を出していただいています。ただし、投票数が多いものが必ずしも統合校名に決定するというわけではありません。票数が多い、少ないということは参考にすると思いますが、それをもって決定するということは今までの事例ではしていません。
- ☆ 上郷小学校は矢沢小学校でも犬山小学校でもない校名になりましたが、同じ校名は残せないというルールはあるのでしょうか。
- 現在の校名も統合校名案の可能性のひとつとして、ご検討していただければと思います。
- ☆ 関係する小学校の子どもたちにもアンケートを取ったほうがいいと思います。
- どのような方を対象にアンケートを取るかということについては、この検討委員会の中でご議論していただければと思います。

◎ **第1回検討委員会以降に寄せられた主な意見** 【凡例】◎・・・ご意見、→・・・事務局回答

- ◎ 検討委員会委員は、どのように選出したのか。また、周辺校の関係者は入っていないのか。
- 検討委員会における自治会代表の方、保護者代表の方の人数バランスの観点から、全ての自治会から選出させていただくことができないため、昨年度、地区連合町内会の中で検討していただき、地区連合町内会の代表として、現在の検討委員とさせていただきました。また、関係校長及び関係者については、地域の代表者や関係校長と相談の上、現時点では委員となっておりますが、今後の検討内容に応じ、検討委員会が必要と判断した場合には、出席を依頼することになっております。
- ◎ 学校統合すると通学距離が延び、徒歩での通学が困難になるため、スクールバスの運行を検討してほしい。
- 庄戸中学校の通学区域から上郷中学校へ通学する距離及び上郷中学校の通学区域から庄戸中学校へ通学する距離については、横浜市の基準（中学校については片道おおむね3km以内）に適合するものと考えておりますが、仮に学校統合となった場合には、検討委員会でも通学安全について検討していただくほか、学校、地域とも連携し、通学安全に配慮してまいります。

◎ **委員の紹介**

第2回検討委員会から検討委員の交代がありました。

【新しく就任した検討委員（敬称略）】 （委員）井川 英生 長倉町自治会代表

【第3回検討委員会の日程】

- ★平成25年8月1日(木) 18時30分から 上郷地区センターにて
(検討予定内容)
- 1. 各所属団体からの意見報告について
- 2. 学校統合(使用校舎、学校名等)について
- 3. その他



(※)「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧になれます。

- ・基本方針など <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>
- ・「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策検討委員会 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/sakae.html>



「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策検討委員会では、皆さまからのご意見を受け付けております。FAXかEメールにて、事務局(学校計画課)までご連絡ください。

- *「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策検討委員会事務局（横浜市教育委員会事務局学校計画課）

TEL:045-671-3253 FAX:045-651-1417
Eメール:ky-sakae@city.yokohama.jp

